

# 中学軟式野球大会規則

## 1. 運 営

中学軟式野球大会は、下記の内容により大会運営をおこないます。規定に触れる場合は、主催者の判断により出場停止・没収試合等の処置を行うこともある。

## 2. 用具・服装(※所属する連盟・団体等の規定に準ずる。)

- ① 監督(30番)、コーチ(29、28番)、選手(0～99番)は必ずユニフォームを着用することとし、チーム全員全員が統一されたものとする。  
ただし、複数校合同チームとして参加する場合は、各校のユニフォームの混在で参加してもよい。
- ② 打者、次打者、走者及びベースコーチは、両耳付きヘルメット(JSBB公認)を必ず着用すること。
- ③ 捕手はマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース(JSBB公認)、ファウルカップを必ず着用すること。
- ④ 選手はネックレス等それに類する物を身につけないこと。
- ⑤ ベンチ内での携帯電話、携帯マイクの使用、喫煙は禁止とする。
- ⑥ サングラスは大会本部の承認なしで使用可能。ただし、投手のミラーレンズは除く。
- ⑦ 使用球は、公認M球とする。

## 3. 引率責任者

各チームは必ず引率者(成人20歳以上、監督又は代表者が兼任可)をつけ、責任をもって行動すること。

## 4. 競技方法

- ① 当該年度公認野球規則並びに中学軟式野球大会規則による。
- ② 全試合7回戦とし、試合時間は1時間40分とする。7回を完了して同点の場合は、タイブレーク戦(無死1、2塁 継続打順)を行い勝敗が決するまで繰り返す。  
予選はリーグ戦とし、各リーグの上位1チームが決勝トーナメントに進出する。ただし、出場チーム数が多数の場合は、トーナメント方式で行う場合もある。
- ③ 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差以上の場合に適用する。
- ④ メンバー表は、第1試合は30分前までに、第2試合以降は前の試合の4回終了時まで各会場の本部に提出し、登録原簿と照合後に攻守を決定する。
- ⑤ ベンチに入れる人員は、ユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番、28番及び選手25名以内とチーム代表者、スコアラー、マネージャー各1名とする。
- ⑥ 投手は1日に100球、大会期間中350球までを限度とする。
- ⑦ 試合時間は大会本部が管理し、選手等の負傷手当のための遅延は試合時間に算入しない。
- ⑧ 準決勝戦のみ試合前のシートノックを行う。後攻チームより行い、時間は5分間とする。  
シートノック時は安全のため、ダートサークル内に入る選手はヘルメット(捕手はマスクを除く全ての装具)を着用すること。  
試合開始前のサイドノックの実施は認める。
- ⑨ 試合途中、降雨日没等で試合続行が不可能となった場合は、5回以降で得点差があるときは、正式にゲームが成立したものとし、同点もしくは5回を終了していないときは抽選とする。
- ⑩ 指名打者ルール適用について  
(1)本大会においては、投手に代わって打つ打者(指名打者)を指名することができる。ただし、二刀流選手(先発投手を指名打者に指名すること。)は採用しない。  
(各大会共通 § 3 指名打者の取り扱いについて 5.11(a)(b)参照)
- ⑪ 守備側の監督は、故意四球を企図する時、その旨を球審に申告することができる(申告敬遠)。  
打者に投球しなくても、打者に対して四球を与えた事とし、打者は一塁へ進む。  
球審は、攻撃側監督にその旨を通告する。
- ⑫ 監督が投手のところに行く回数の制限(タイムは1分以内を限度とする)。  
監督が1試合に投手のもとへ行ける回数は3回以内とする。なお、決勝戦のみタイブレークは1イニングに1回行くことができる。
- ⑬ 守備側のタイムの回数制限(タイムは1分以内を限度とする)。  
捕手または内野手が、1試合に投手のもとに行ける回数は、3回以内とする。なお、決勝戦のみタイブレークは、1イニングに1回行くことができる。野手(捕手も含む)が投手のもとへ行った場合、そこへ監督が行けば双方1回として数える。逆の場合も同様とするが、投手交代の場合は、監督のみ回数に含まない。

- ⑭ 攻撃側のタイムの回数制限(タイムは1分以内を限度とする。)  
攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。  
なお、決勝戦のみタイブレークは、1イニングに1回行うことができる。
- ⑮ 攻守交代のときは、球をマウンドに投げずに、必ず投手板上か、その付近に置いてくること。
- ⑯ ファウルボールの球の処理については、一塁側に止まったものは、一塁側のチームが拾う。三塁側に止まったものは、三塁側のチームが拾う。捕手の後方のものは攻撃側のチームが拾う。
- ⑰ 試合のスピード化を図るため、内野手間の転送球を禁止する。
- ⑱ 投手が投球練習するときは、危険防止のため捕手は装具を全てを着用すること。(装具を着用していない場合は、立って捕球すること。)
- ⑲ 選手の頭髪・身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのことスポーツマンらしい態度で参加すること。
- ⑳ ベンチ内のメガホン使用は監督に限り許可する。
- ㉑ 大会本部や相手チームへの挨拶は不要である。(応援団への挨拶は奨励)
- ㉒ 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたときには、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。
- ㉓ 投手に関する12秒ルール及び20秒ルールは適用しない。
- ㉔ 本規定に定めていない事項については、全日本軟式野球連盟(JSBB)に定める規定規則、取決め事項による。

## 5. その他

- ① 天候等による大会実施の可否、試合の中断及び日程の変更は、大会本部で決定する。
- ② 選手等の会場における負傷、疾病については、競技が直接の原因であっても応急薬品の塗布、貸与等の救急処置以外は主催者側では一切責任を負いません。チーム引率責任者等は負傷、疾病に十分留意してください。